

名古屋税関管内の輸出品から

カーボンニュートラル
の実現へ！

「リチウム・イオン蓄電池」

2024年の輸出額**過去最高！**

全国税関別シェア **初の第1位！**



今回は、管内におけるリチウム・イオン蓄電池の2024年の輸出額が全国税関別シェアで**初の第1位**となり、**過去最高**額を記録したことから貿易統計資料をもとに、リチウム・イオン蓄電池の輸出動向について紹介します。

はじめに～リチウム・イオン蓄電池とは～

リチウム・イオン蓄電池は、正極と負極を持ち、その間をリチウムイオンが移動することで充放電を行う二次電池（充電によって繰り返し使用可能な電池）のことです。小型で長寿命といった特徴があり、高いエネルギー密度を保つことができます。

身近なものだとスマートフォンやPCのバッテリー、電動工具や医療機器、車両ではハイブリッド自動車（HV）、プラグインハイブリッド自動車（PHV）、電気自動車（EV）等幅広い用途で利用されています。

また、リチウム・イオン蓄電池の実用化には日本の研究者が貢献しており、2019年には『ノーベル化学賞』が授与されました。リチウム・イオン蓄電池は、それぞれの用途に合わせた形状があるのも特徴です。

- ・本資料の輸出数量及び金額の「リチウム・イオン蓄電池」は、
輸出統計品目番号「8507.60-000 リチウム・イオン蓄電池」
に分類されたものを集計したものとします。
- ・本資料は、統計として比較可能な2012年以降のデータを基礎としています。
- ・本資料は、輸出通関された貨物の蔵置場所を基準に集計しています。
- ・本資料における輸出入額について、2023年以前は確定値、2024年は確々報値となります。
- ・本資料中のグラフについて、四捨五入処理により総計が100%とならない場合があります。
- ・本資料を引用する場合は、名古屋税関の資料による旨を注記してください。
- ・本資料に関するお問い合わせは、名古屋税関 調査部 調査統計課（TEL052-654-4176）までお願いします。
また、貿易統計は名古屋税関 HP でもご覧いただけます。《<https://www.customs.go.jp/nagoya/>》

2024 年の輸出額が過去最高を更新！

統計として比較可能な 2012 年以降、リチウム・イオン蓄電池の輸出額は、増減を繰り返しながらも増加傾向で推移し、2024 年の全国及び管内の輸出額は大きく増加し、それぞれ過去最高となる 5,037 億円と 1,604 億円となりました。特に、管内の輸出額はより増加傾向が顕著であり、2024 年は 5 年前の 2019 年の輸出額と比較すると約 9.3 倍に上昇しました。

管内からの輸出額が増加している主な背景としては、全世界的にハイブリッド自動車（HV）、プラグインハイブリッド自動車（PHV）、電気自動車（EV）等の需要が拡大し、比較的高価な車載用のリチウム・イオン蓄電池の輸出増加が要因の一つとして挙げられます。

全国及び管内輸出額推移



豆知識 『リチウム・イオン蓄電池の形状による種類』

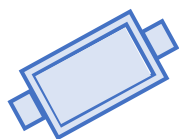
リチウム・イオン蓄電池は大別すると以下の3種類となり、形状ごとの特徴は次のとおりです。

① 円筒型



強度が高く、外装缶に鉄が用いられるため、電動工具などに多用されています。円筒型のリチウム・イオン蓄電池は、最も低コストで容量密度が高いと言われています。

② パウチ型(ラミネート型)



金属缶による封止ではなく、プラスチックフィルムをラミネートした金属ホイルで封止するタイプです。スマートフォンやウェアラブルデバイスなどの機器に使用されます。金属缶と比べて薄型・軽量化でき、形状の自由度にも優れています。

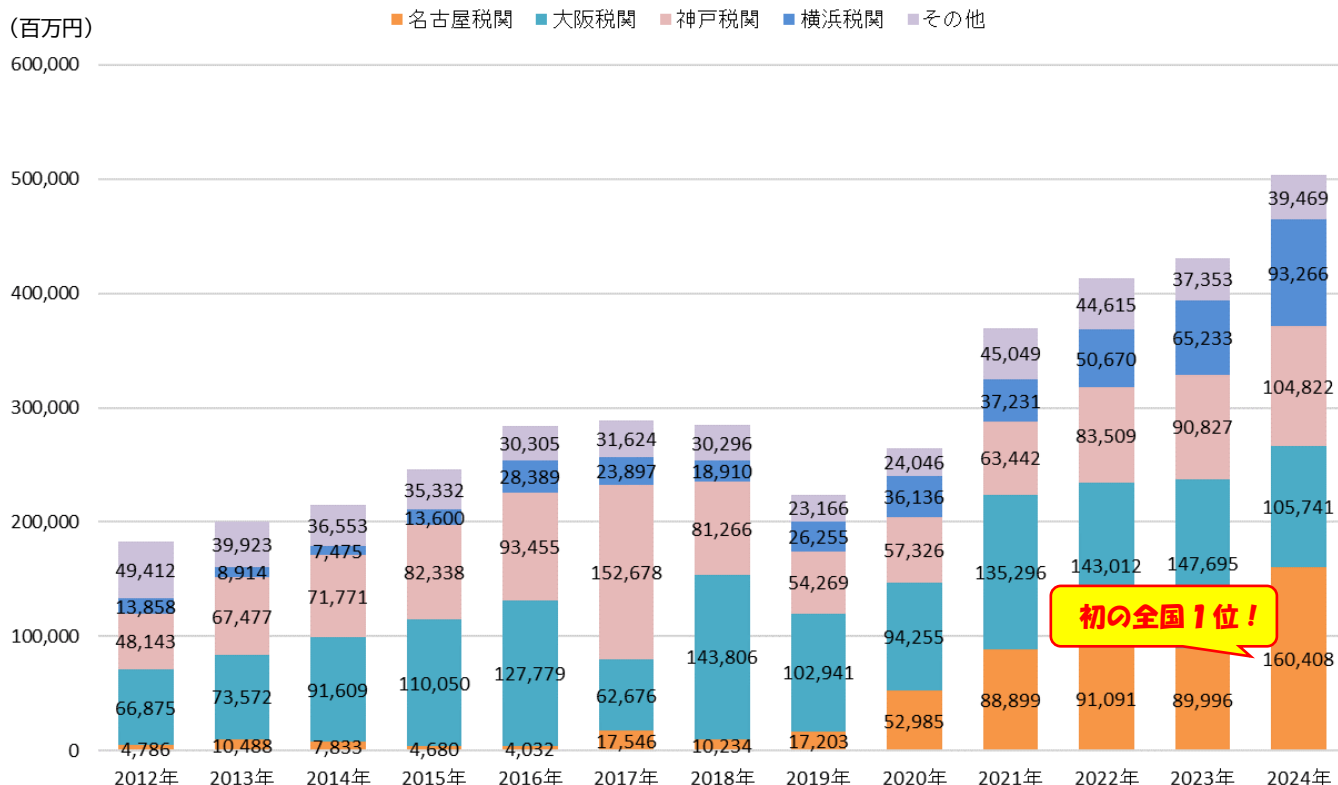
③ 角型



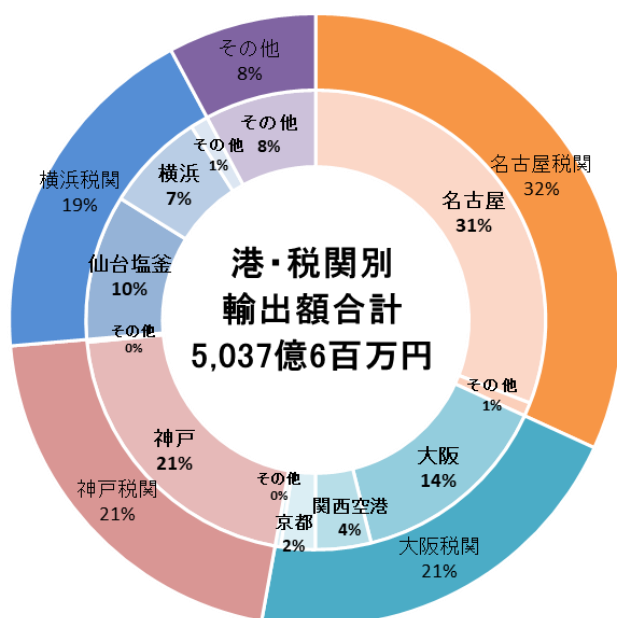
隙間なくコンパクトにパッケージできるため、セルをたくさん使う蓄電池システムや電気自動車（EV）などで採用される例が多いです。角型のリチウム・イオン蓄電池では、アルミ製のケースが多く採用されています。

税関別輸出額の推移と税関別・港別の構成比について

税関別輸出額の推移



税関別・港別の構成比(2024年)



名古屋税関管内の全国シェア 32%

2024年における、港別の輸出額シェアは、名古屋港が31%、神戸港が21%、大阪港が14%でした。

リチウム・イオン蓄電池は安全性の観点から、海上輸送が主流であることも特徴の一つです。

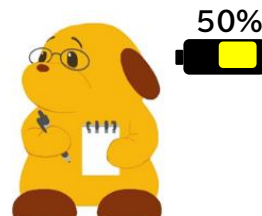
税関別では、名古屋税関が32%、神戸税関、大阪税関が21%で、名古屋税関管内からの輸出が多いことがわかります。

名古屋税関においては、2024年に輸出額が

『初の全国第1位』

となりました。

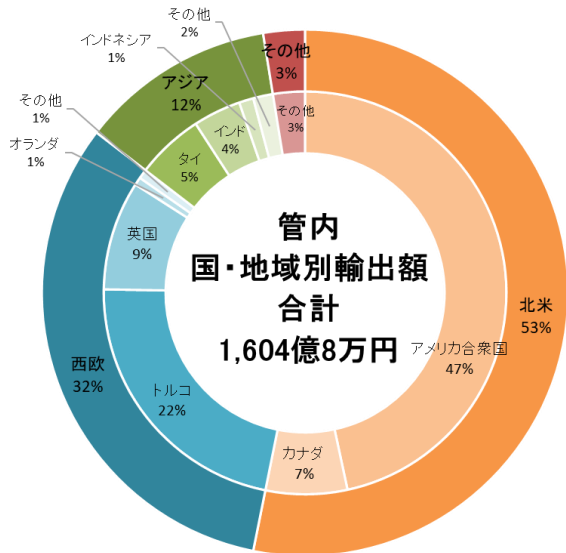
名古屋税関管内の輸出が目に見えて増え始めたのは
2020年以降なんだワン！



輸出先は北米、西欧、アジアが中心

2024 年における管内の輸出先は、金額ベースで、北米が 53%、西欧が 32%、アジアが 12%、それ以外の地域が 3% となっており、北米と西欧、アジアのシェアの合計が全体の約 97% を占めています。国別では、管内において、アメリカ、トルコ、英国、カナダの順でシェアが高く、北米、西欧向けの輸出が大半を占めることがわかります。

管内 国・地域別輸出額の割合(2024 年)



管内からの輸出額が大きい国は？

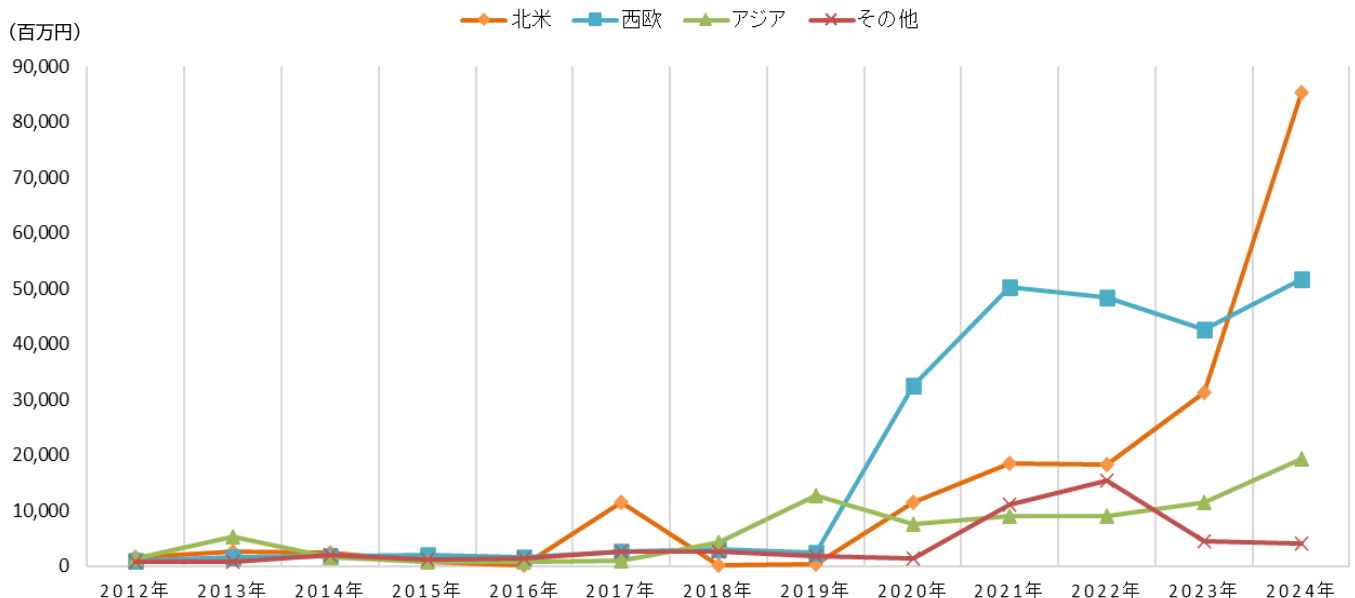
リチウム・イオン蓄電池は、主に先進国での需要が高く、管内からの輸出額をみると、国別ではアメリカが多くを占めていることがわかります。

管内からの輸出は、車載用のバッテリーの輸出額が大きいことも特徴の一つであり、現地に到着した後、ハイブリッド自動車（HV）、プラグインハイブリッド自動車（PHV）、電気自動車（EV）に組み付けられたり、アフターマーケットに供給されたりするとのことです。

地域別の輸出額推移、北米・西欧・アジアの増加が顕著

2024 年における管内の地域別輸出額は、1 位が北米、2 位が西欧、3 位がアジアとなっております。2024 年は北米の輸出額が前年と比較して特に大きいことが特徴です。管内の地域別輸出額推移をみると、北米向けは、近年大幅に増加しました。5 年前の 2019 年と比較すると輸出額は約 225 倍となっております。

管内地域別輸出額推移



最後に ～リチウム・イオン蓄電池の今後～

リチウム・イオン蓄電池は世界中で脱炭素化の流れが加速していることもあり、自動車用のほかにも、家電製品や工作機械、エネルギー貯蔵など様々な分野における技術の要として、世界での需要が拡大し輸出額の増加が続いてきました。

一方で、近年は日本だけでなく、世界各国で異常に安価かつ粗悪なリチウム・イオン蓄電池がネット等で出回っているのも実情であり、世界的にみても高い生産技術をもつ日本が、世界でのシェアを拡大していくためにも、ユーザー側が適切な使い方や電池への理解を深めることも重要です。

前述の通り、管内からの輸出の特徴は、車載用のバッテリーの輸出額が大きいことが特徴の一つであり、自動車業界においても世界中で規制等によって排ガス抑制や、燃費向上等が求められていることから、その点においても大きな役割を果たす『リチウム・イオン蓄電池』の輸出動向には注目です。

使い切ってからより残量が20%
くらいになったら充電するのが電池に
は優しいわん！



資料編

輸出推移 名古屋税関

| 年月 | 第1数量(NO) | 前年比第1数量 | 第2数量(KG) | 前年比第2数量 | 当年金額(千円) | 金額-前年比 | 全国比 |
|-------|------------|----------|------------|---------|---------------|---------|--------|
| 2012年 | 2,605,668 | 全増 | 676,644 | 全増 | 4,785,777 | 全増 | 2.61% |
| 2013年 | 4,292,013 | 164.72% | 1,122,865 | 165.95% | 10,487,842 | 219.15% | 5.23% |
| 2014年 | 1,755,669 | 40.91% | 922,504 | 82.16% | 7,833,237 | 74.69% | 3.64% |
| 2015年 | 1,084,685 | 61.78% | 601,839 | 65.24% | 4,679,584 | 59.74% | 1.90% |
| 2016年 | 1,699,705 | 156.70% | 623,393 | 103.58% | 4,032,291 | 86.17% | 1.42% |
| 2017年 | 73,681,775 | 4334.97% | 4,379,255 | 702.49% | 17,545,706 | 435.13% | 6.08% |
| 2018年 | 1,552,919 | 2.11% | 1,427,609 | 32.60% | 10,233,707 | 58.33% | 3.60% |
| 2019年 | 1,445,357 | 93.07% | 2,319,907 | 162.50% | 17,203,156 | 168.10% | 7.69% |
| 2020年 | 1,657,744 | 114.69% | 10,321,250 | 444.90% | 52,984,946 | 308.00% | 20.01% |
| 2021年 | 3,182,253 | 191.96% | 15,939,622 | 154.43% | 88,899,358 | 167.78% | 24.03% |
| 2022年 | 5,989,219 | 188.21% | 14,502,936 | 90.99% | 91,091,200 | 102.47% | 22.06% |
| 2023年 | 2,234,938 | 37.32% | 13,446,412 | 92.72% | 89,995,503 | 98.80% | 20.88% |
| 2024年 | 3,240,399 | 144.99% | 20,996,398 | 156.15% | ★ 160,408,162 | 178.24% | 31.85% |

★は、金額としての過去最高を表す。

輸出推移 全国

| 年月 | 第1数量(NO) | 前年比第1数量 | 第2数量(KG) | 前年比第2数量 | 当年金額(千円) | 金額-前年比 |
|-------|---------------|---------|------------|---------|---------------|---------|
| 2012年 | 895,555,528 | 全増 | 39,220,805 | 全増 | 183,074,070 | 全増 |
| 2013年 | 767,094,884 | 85.66% | 39,835,244 | 101.57% | 200,373,673 | 109.45% |
| 2014年 | 875,259,491 | 114.10% | 45,695,378 | 114.71% | 215,242,006 | 107.42% |
| 2015年 | 962,330,097 | 109.95% | 54,275,428 | 118.78% | 246,000,003 | 114.29% |
| 2016年 | 1,196,537,485 | 124.34% | 72,914,206 | 134.34% | 283,959,735 | 115.43% |
| 2017年 | 1,184,161,896 | 98.97% | 72,227,061 | 99.06% | 288,420,211 | 101.57% |
| 2018年 | 1,164,644,749 | 98.35% | 70,943,161 | 98.22% | 284,511,366 | 98.64% |
| 2019年 | 841,751,960 | 72.28% | 53,209,190 | 75.00% | 223,834,369 | 78.67% |
| 2020年 | 740,974,356 | 88.03% | 61,454,783 | 115.50% | 264,747,594 | 118.28% |
| 2021年 | 1,047,353,180 | 141.35% | 84,151,769 | 136.93% | 369,917,172 | 139.72% |
| 2022年 | 1,007,171,373 | 96.16% | 81,643,362 | 97.02% | 412,896,726 | 111.62% |
| 2023年 | 860,511,903 | 85.44% | 74,631,147 | 91.41% | 431,103,492 | 104.41% |
| 2024年 | 571,085,910 | 66.37% | 74,589,161 | 99.94% | ★ 503,705,794 | 116.84% |

2024 年 税関・港別輸出額

| 税関/港 | 金額 (千円) |
|-------|-------------|
| 名古屋税関 | 160,408,162 |
| 名古屋 | 155,583,682 |
| その他 | 4,824,480 |
| 大阪税関 | 105,741,048 |
| 大阪 | 71,912,715 |
| 関西空港 | 19,705,461 |
| 京都 | 12,180,829 |
| その他 | 1,942,043 |
| 神戸税関 | 104,822,092 |
| 神戸 | 103,818,981 |
| その他 | 1,003,111 |
| 横浜税関 | 93,265,504 |
| 仙台塩釜 | 51,449,727 |
| 横浜 | 35,487,177 |
| その他 | 6,328,600 |
| その他 | 39,468,988 |
| その他 | 39,468,988 |

管内 国・地域別輸出額推移

| 年月 | 北米 管内輸出額(千円) | 西欧 管内輸出額(千円) | アジア 管内輸出額(千円) | その他 管内輸出額(千円) |
|-------|-----------------|-----------------|------------------|------------------|
| 2012年 | 1,545,900 | 1,033,073 | 1,360,574 | 846,230 |
| 2013年 | 2,729,454 | 1,511,806 | 5,416,109 | 830,473 |
| 2014年 | 2,423,608 | 1,768,724 | 1,638,961 | 2,001,944 |
| 2015年 | 791,236 | 1,952,867 | 773,711 | 1,161,770 |
| 2016年 | 168,230 | 1,686,197 | 757,071 | 1,420,793 |
| 2017年 | 11,541,584 | 2,554,218 | 906,637 | 2,543,267 |
| 2018年 | 246,036 | 2,976,326 | 4,311,901 | 2,699,444 |
| 2019年 | 379,116 | 2,352,076 | 12,704,066 | 1,767,898 |
| 2020年 | 11,410,535 | 32,507,464 | 7,666,409 | 1,400,538 |
| 2021年 | 18,471,721 | 50,285,476 | 8,950,608 | 11,191,553 |
| 2022年 | 18,302,992 | 48,344,134 | 9,099,315 | 15,344,759 |
| 2023年 | 31,307,759 | 42,678,606 | 11,552,463 | 4,456,675 |
| 2024年 | ★ 85,274,236 | ★ 51,758,862 | ★ 19,274,752 | 4,100,312 |

2024 年 管内 国・地域別輸出額

| 地理圏 | 管内数量(NO) | 管内輸出額(千円) |
|---------|-----------|------------|
| 北米 | 1,023,556 | 85,274,236 |
| アメリカ合衆国 | 704,081 | 74,775,169 |
| カナダ | 319,475 | 10,499,067 |
| 西欧 | 515,714 | 51,758,862 |
| トルコ | 202,394 | 35,480,214 |
| 英国 | 194,743 | 14,059,419 |
| オランダ | 8,017 | 1,017,493 |
| その他 | 110,560 | 1,201,736 |
| アジア | 1,215,698 | 19,274,752 |
| タイ | 985,340 | 8,716,052 |
| インド | 70,207 | 6,157,628 |
| インドネシア | 45,873 | 1,853,559 |
| その他 | 114,278 | 2,547,513 |
| その他 | 485,431 | 4,100,312 |
| その他 | 485,431 | 4,100,312 |

